

記載例

局 部 課			委 託 監 督 員
課 長	係 長	係 員	

施 工 計 画 書

年 月 日

(あて先)

福岡市長

受注者 会社名  
現場代理人氏名

印

年 月 日契約した請負工事の施工について、次のように計画しましたので提出します。

契約件名

# I 総合施工計画書

※ 施行計画書は、受注者が当該工事で実際に施工する事を具体的に文書にし、その記載内容にそった施工を約束するものです。記載事項は、工期、安全管理、使用機材、施工方法、養生等で、以下その記載項目を記述する。

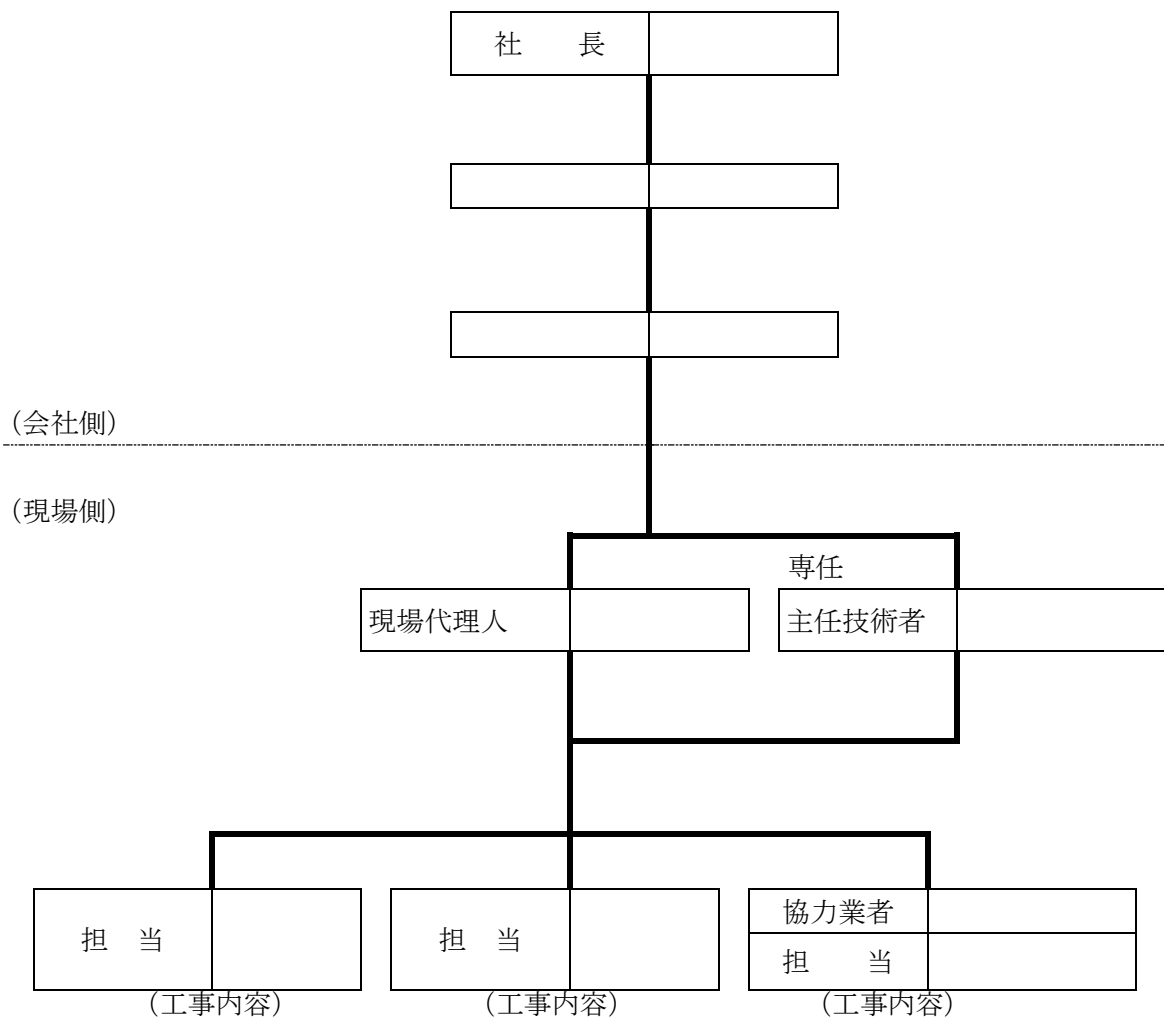
## 1. 工事概要

## 2. 付近見取図 (搬入ルート図等含む)

## 3. 受注者の組織

### (1) 現場施工体制組織表

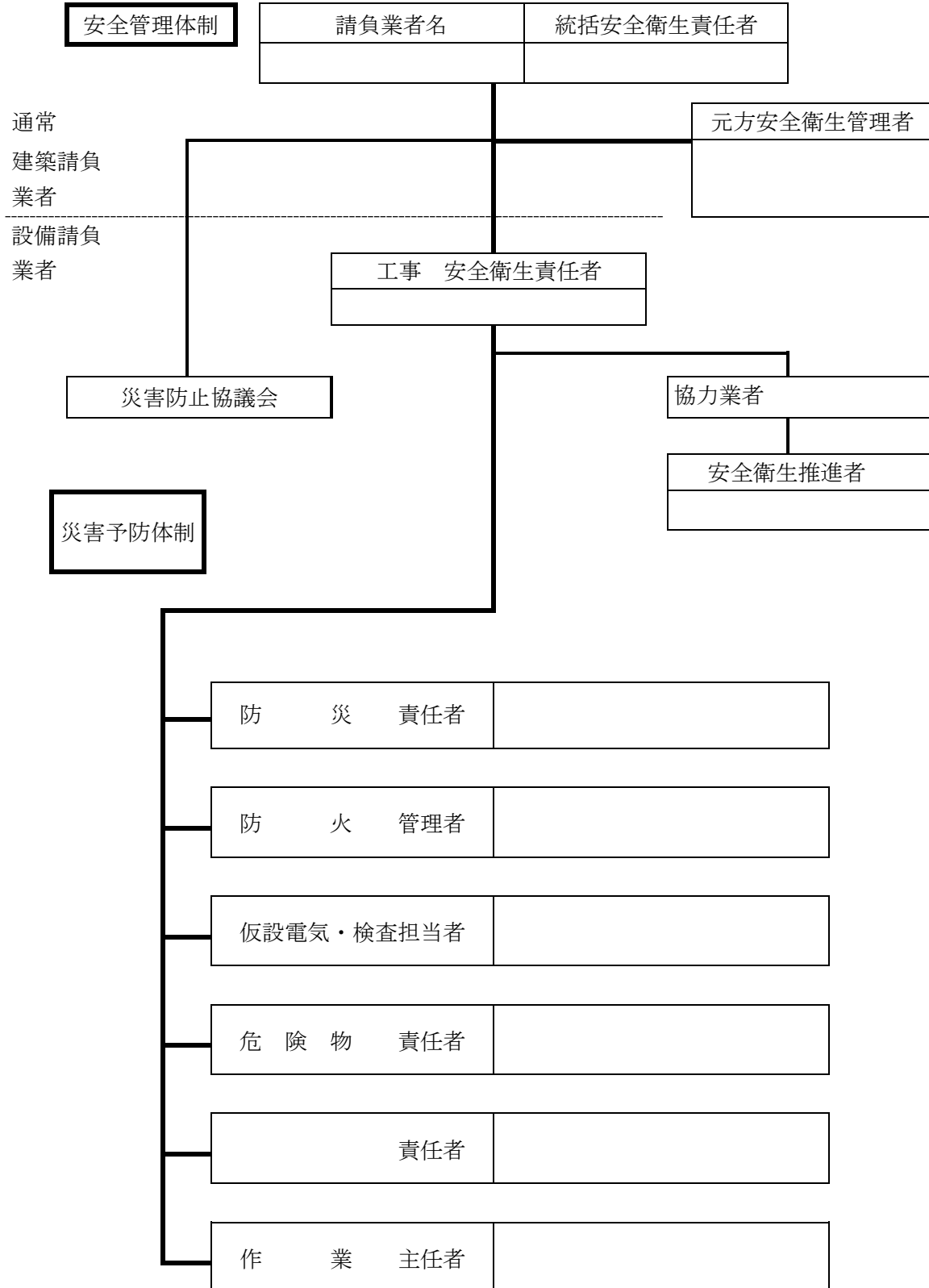
- ・ 請負会社の組織を記入する。
- ・ 記載例に該当しない役職は記載の必要はない。
- ・ 「協力業者」には、別に保温、塗装工事等を他の会社に依頼する場合に記入する。



(2) 現場管理体制

- ・「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」は別途建設会社が主体となる場合に記入し、設備工事だけの場合は斜線とし、記入の必要はない。
- ・建設会社名と氏名を記入のこと。

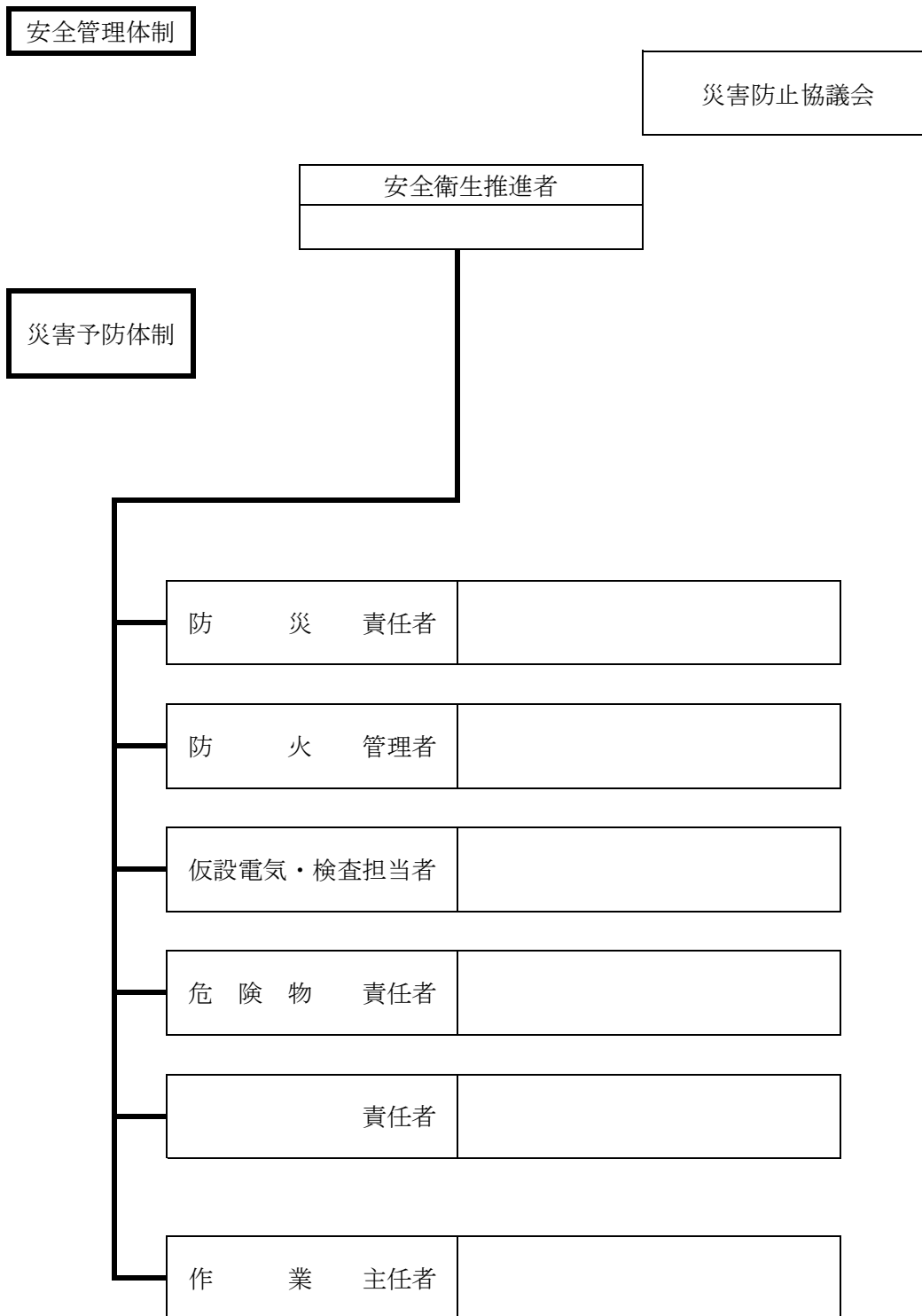
(2-1) 現場管理体制：常時 50人以上（同一場所で建築・設備の元請・下請合わせて）



(掘削・足場・溶接・酸欠・有機溶剤等)

※ 各責任者が元請け以外の場合は会社名も記入する

(2-2) 現場管理体制：常時 10～50人未満（同一場所で建築・設備の元請・下請合わせて）



(掘削・足場・溶接・酸欠・有機溶剤等)

※ 各責任者が元請け以外の場合は会社名も記入する

(3) 安全衛生管理計画概要

労働安全衛生法及び同規則に基づく災害防止協議会に加入し、統括安全衛生責任者の管理方針に従って安全衛生管理計画を実施し、安全作業の徹底、快適な作業環境の確立及び作業能率の向上に積極的に努めることにより、無事故及び無災害で工事を完了させる。

※ 安全衛生管理計画の作成及び教育にあたっては、福岡建設労務研究会発行の「安全ポケ

ットブック」に基づきおこなうこと。記載例を参照のこと。

(4) 安全衛生管理計画表

※「主催」欄は、具体的に個人が特定できるように記入する。

計画項目	実施時期	出席者	主催 (原則として氏名を記入)	記録
入場者教育	随時AM8:30	新規入場時	現場代理人氏名	入場者教育用紙
体 操	毎日AM8:00	全 員	朝礼担当氏名	
朝 礼	毎日AM8:05	全 員	朝礼担当氏名	安全日誌
安全常会	毎日AM8:10	全 員	工事班長氏名	安全日誌
危険予知	毎日AM8:20	全 員	工事班長氏名	安全日誌
安全パトロール	毎日PM4:00	安全当番	安全衛生責任者 同推進者 等	安全日誌
安全工程打合	毎日PM4:30	班長以上	工事主任氏名	安全作業指示書
定例工程打合	毎日PM1:00	現場代理人	ゼネコン氏名	会議議事録
週間工程打合	作業第1日目 PM1:00	現場代理人	現場代理人氏名	会議議事録
職場安全会議	毎月1回	全 員	現場代理人氏名	会議議事録
場内一斉清掃	毎月1回	全 員	ゼネコン 担当者氏名	
安全技術パトロール	毎月1回	当番制	現場代理人氏名	安全技術点検簿
災害防止協議会	毎月1回	現場代理人	ゼネコン 担当者氏名	会議議事録
安全大会	毎月1回	全 員	ゼネコン 担当者氏名	安全日誌
会社検査	随時	担当者以上	会社検査担当 氏名	安全技術検査表

(5) 施工に必要な資格者

必要な資格と、資格者氏名を記載する。

資格例

- ① 電気工事士 (第1種、第2種)      ② 特殊電気工事資格認定証  
③ 消防設備士 (甲種)                  ④ 足場組立等作業主任者

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| ⑤ 酸欠作業主任者     | ⑥ アーク溶接作業主任者         |
| ⑦ 危険物取扱責任者    | ⑧ クレーン運転士及び移動クレーン運転士 |
| ⑨ ケーブル端末処理資格者 | ⑩ 建設用リフト運転           |
| ⑩ クレーン運転      | ⑪ 巻上機運転              |
| ⑫ 玉掛技能        | ⑬ 研削といし取替技能          |
| ⑭ ガス溶接作業主任者   | ⑮ ボイラー据付工事作業主任者      |
| ⑯ e t c       |                      |

(6) 作業時間等(土・日・祭日・作業開始・終了時間等)

- ・作業時間 :
- ・日祭日作業の有無 :
- ・夜間作業の有無 :

## 4. 現場仮設計画

### (1) 仮設物の大きさ及び配置

※ 工事対象建築物の周辺道路を含む地図上に記入すること、

- ① 工事標示板
- ② 現場事務所
- ③ 仮囲い
- ④ 搬入ルート (必要に応じて広範囲の地図を使用し、平日と休日の2通りあるものなど複数ルートすべて記入する。)
- ⑤ 駐車スペース
- ⑥ 作業場所
- ⑦ 資材(機材)保管場所
- ⑧ 足場
- ⑨ その他、発生材置場、産業廃棄物置場等も記入する。

なお、建築工事等にて設置する仮囲い等の仮設物についても記入すること。

監督員が求める注記等も記入する。

### (2) 電力・電話・給排水等の引込み並びに火を扱う場所

下記の例の項目について記入するが、仮設がない場合は「該当なし」とする。

- ① 電力 引込
- ② 電話 引込
- ③ 給 水
- ④ 排 水
- ⑤ 火を扱う場所
- ⑥ 有機溶剤(シンナー等)の保管場所
- ⑦ その他危険物等の保管場所

### (3) 工事施工のための仮設

下記の例の項目について記入するが、仮設がない場合は「該当なし」とする。

- ① 矢板・水替え
- ② 足場及びリフト
  - ・足場：足場の種類、位置、高さ、ネットの有無、壁つなぎの間隔、最大積載量、昇降の方法、足場の組立て作業主任者の氏名などについて、詳しく記載してください
- ③ 運 搬
- ④ 養 生
- ⑤ 揚重機

※②、③項の内容について、必要に応じて図中に記入する。(色分け等にて明瞭化することが望ましい。)

### (4) 仮設物の期間

仮設物の設置期間。工期または、工事予定日等を記入する。

## 5. 予想される災害・公害の種類と対策

予想される災害	対 策	備 考
1. 墜落災害	1. 安全带活用の指導 2. 開口部廻りの養生・標識 3. 作業床を確実に設置 4. ローリングタワーの正規な設置方法・取扱の指導及び点検 5. 足場架台の正規な組立方法取扱の指導及び点検 6. 脚立・梯子の正しい使用方法の指導及び点検 7. 安全通路の確保及び通行指導 8. 危険場所区域の立入禁止ロープ及び標識の設置 9. 高所作業の下方には安全ネットの設置	
2. 建設用機械等による災害	[クレーン・掘削機械・バックホ等] 1. 定期自主点検の実施	
3. 落下物災害	1. 軽い材料は飛散しないように確実に固定させる 2. ペンチ・ドライバー等の工具は確実に納められる工具袋を身につけるように指導する 3. 材料揚重区域の立入禁止ロープ及び標識の設置 4. 安全通路の確保 5. 安全靴、ヘルメットの着用	
4. 交通事故	1. 交通ルール厳守の指導 2. 駐車場確保の指導 3. 運転日誌記入・速度記録計設置の指導	
5. 火災事故	1. くわえタバコの作業禁止 2. 喫煙指定場所の設置 3. 現場事務所・詰所・材料置場等には消火器設置 4. 火気発生作業箇所には防火シート及び消火器を設置 5. 整理・整頓・掃除の励行 6. 防火責任者による作業終了後のパトロール実施	



予想される災害	対 策	備 考
6. 感電災害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持込電動機械工具の使用前点検及び定期点検</li> <li>2. E L B・接地の定期点検</li> <li>3. 仮設電気設備の定期点検</li> <li>4. 既存受変電設備停電作業は工事計画書を作成し、電気主任技術の立会</li> <li>5. 既設建物改造では検電・接地を確実に実行</li> </ol>	
7. 機械工具による災害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用前点検の実施</li> <li>2. 溶接機・カッター等の工具は使用前点検を実施</li> <li>3. 定期点検の実施</li> <li>4. 使用方法の教育</li> </ol>	
8. 酸素欠乏症等災害	<p>[酸素欠乏症・硫化水素中毒]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第2種酸素欠乏作業箇所の把握 (浄化槽・ピット内・マンホール内等)</li> <li>2. 作業主任者の選任</li> <li>3. 酸素濃度の測定等</li> <li>4. 換気その他の処置</li> </ol>	
9. 火花塵埃災害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有資格者の確認</li> <li>2. 溶接機・カッター等の工具使用前点検を実施</li> <li>3. 防塵メガネ・防塵マスクの着用励行</li> <li>4. 消火器の設置</li> <li>5. 作業後の清掃実施</li> </ol>	
10. 第三者障害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人・対物賠償保険への加入</li> <li>2. 車輛は作業場出入口で一旦停止</li> <li>3. 既設建物区域の改修工事は作業後試験運転を実施</li> <li>4. 同・大幅な改修工事は施工計画書を作成</li> <li>5. 同・作業後の片付清掃を実施</li> <li>6. 必要に応じて作業立会人を設置</li> </ol>	

## 6. 出入口の管理

### (1) 関係者以外の立入禁止(第三者に対する対策等)

- ① 仮囲いを設置し、出入口の扉は施錠する。
- ② 工事専用の出入口を設定し、警備員を配する。
- ③ 休館日に工事を行い、出入口は施錠する。  
等を記入する。

### (2) 出入口の交通安全

- ① 進入、進出時には一旦停止。
- ② 児童(生徒、利用者等)に十分注意する。  
等を記入する。

## 7. 危険箇所の点検方法

### (1) 高所作業区域

- ① 高所作業場所は、機材・不用残材・工具の落下防止は基より、作業員の転落防止のために安全ネットの取付をおこなう。また、取扱責任者を決め日常点検操作を行う。  
等を記入する。

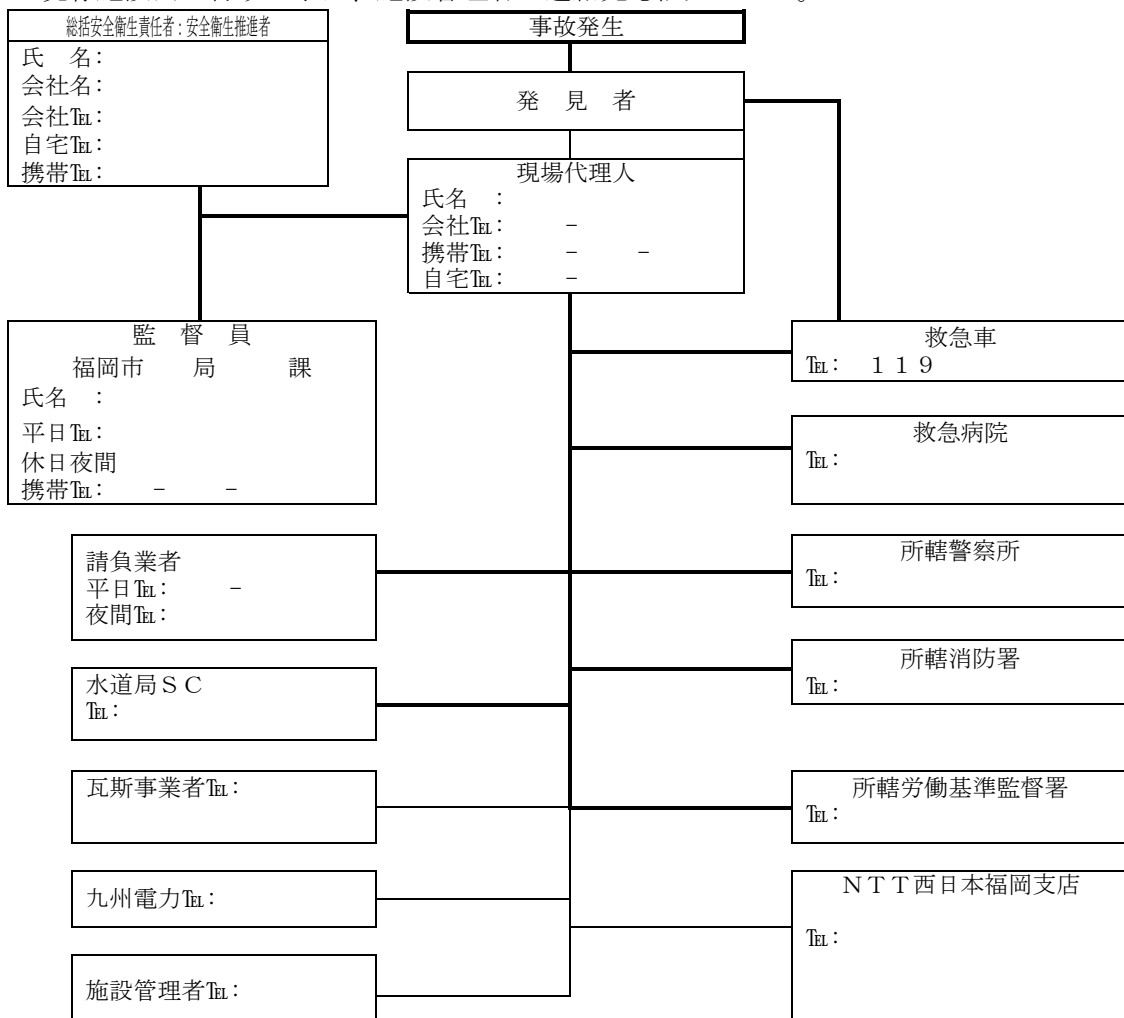
### (2) 重量物搬入区域

- ① 空調室外機、高置水槽等の搬入区域は仮囲いし立入禁止の表示を行う。また、監視員により監視する。  
等を記入する。

## 8. 緊急連絡体制(夜間も含む)

※ 携帯電話、PHS等の電話番号も記入すること。必ず現場代理人との連絡方法を記入する。

既存施設内で行う工事は、施設管理者の連絡先も記入のこと。



## 9. 火災予防

### (1) 現場事務所

- ① 消火器を設置し、灰皿、ゴミ等は毎日業務終了後片付けて帰る。等を記入する。

### (2) 作業員詰所・材料置場

- ① 消火器及び水バケツを設置し、作業終了後は清掃して帰る。
- ② 灰皿は必ず毎日片づけて帰る。等を記入する。

### (3) 現場内

- ① 現場には、喫煙場所を設置し作業中のくわえタバコは禁止する。
- ② 作業終了後吸殻入れは必ず片づけて帰る。
- ③ 火気使用場所は消火器又は水バケツを設置する。等を記入する。

## 10. 夜間警戒

### (1) 工事期間中

- ① 警備会社に委託し定期巡回する。等を記入する。

### (2) 配管布設期間(平成 年 月 ~ 平成 年 月)

- ① 配管類は資材保管場所を確保し、仮ドアにて施錠する。等を記入する。

### (3) 機器搬入後

- ① 機器保管場所を確保し、仮ドアにて施錠する。等を記入する。

### (4) 機器据付以後

- ① 機器据付後は、機器の施錠及びシートで養生しておく。
- ② 竣工検査後も工事引渡しまで、請負者にて警備する。等を記入する。

## 11. 服務規則

### (1) 服装

- ① 作業員の作業服は、所属会社の指定服とする。
- ② 技術者の事務服は、現場用を準備する。等を記入する。

### (2) ヘルメット、安全靴

- ① 作業員は、所属会社のヘルメット・安全靴を着用する。
- ② 技術者のヘルメットは、現場用を準備する。等を記入する。

### (3) 腕章

- ① 技術者及び作業員とも現場に入場する場合は、腕章を着用する。等を記入する。

### (4) 入場許可証

- ① 入場許可証は、前記の服務規則に合格した者以外には交付しない。
- ② 技術者及び作業員とも現場に入場する場合は、指定の入場許可証を携帯し入出時に提示する。等を記入する。

## 12. 工程表